地域学校協働本部便り

令和8年11月10日発行　第3号

江別市教育委員会　生涯学習課
江別市地域学校協働本部
江別市高砂町24－6
TEL 011－381－1062
FAX 011－382－3434
担当：江別市地域学校協働本部事務局
(江別市教育委員会内)

「第2回江別市地域学校協働本部会議」開催



10月28日（水）、「第２回江別市地域学校協働本部会議」が開催されました。今回の議題は、（１）江別市地域学校協働活動推進員設置要綱の制定について、（２）中央中学校モデル校区への地域学校協働活動推進員の配置について、（３）令和8年度事業計画の前期事業実績と後期予定について、（４）中央中学校モデル校区の取り組みについての４つで、報告と話し合いがなされました。特に（４）の議題については推進員から、これまで取り組んできたことや今後の構想について、「中央中学校区地学協働通信With１～６号」を用いながら説明してもらいました。会議の概要については以下の通りです。

1．江別市地域学校協働活動推進員設置要綱の制定・推進員の配置

設置要綱の制定

「江別市地域学校協働活動推進員設置要綱」が制定され、10月1日より施行されました。地域と学校の連携・協働をより組織的に進めるための体制整備が進んでいます。

モデル校区への推進員配置

中央中学校モデル校区に地域学校協働活動推進員が1名委嘱され、10月1日より活動を行っています。

2．令和8年度　前期事業実績の報告

本部会議の開催

今年度は今回を入れて2回の本部会議を開催し、地域と学校の協働に向けた協議や情報交換を行いました。（第3回は2月中旬に開催予定）

視察・情報収集

モデル校区の対雁小での「ワクワクふれあい祭り」（石狩教育局巡回訪問）の他に、文京台小学校での石狩教育局巡回訪問や大麻東小学校の親子ふれあいコンサート（CS主催）の視察など、モデル校区以外の地域での地域学校協働活動の実態確認や情報収集を進めました。また、地域学校協働活動は、学校運営委員会の熟議の深まりが活動に繋がっていくことから、10月4日には、野幌中学校区の合同運営委員会を見学させていただきました。小中学校で現在検討中の新しい「江別スマート４RULES」を題材にした熟議が行われ、素晴らしい取組でした。

学習サポート教員による支援

9月末までに計1992回の学習支援・放課後学習を実施しました。各学校で学習サポート教員の有効活用が進み、中学校の放課後学習の参加人数や実施率が増加傾向にあります。

地域ボランティアの活躍



ミシン・水泳・書写・日本語サポートなど、9月までに約530回のボランティアをしていただきました。特に外国籍児童・生徒の転入増加に伴い、日本語サポートの回数は急増し、全体の約80%を占めています。8月24日には、「日本語サポートボランティア情報交換会」を開催し、9名の方にご参加いただきました。成果や課題、支援方法などについて活発な情報交換が行われ、大変有意義な会となりました。

学生ボランティアの支援拡大

教職を目指す学生をはじめ、多くの学生が参加し、実施回数は約270回で、昨年度よ100回ほど増えています。参加者数も昨年度より10名ほど増え、54名です。一方で、特定の学校への希望者が集中するなどの課題もあり、受け入れ校の負担も大きくなっていることから、各大学との連携強化や受け入れ条件の調整を行っています。昨年度は、前期と後期の2回の募集を実施しましたが、今年度は、希望者が非常に多かったことから、後期の募集は行わないことになりました。

3. 令和8年度　後期の主な活動予定

学習サポート計画の最適化

前期の実施状況や途中退任による予備回数を踏まえ、各学校のニーズに合わせて学習サポート日数を再配分し、効果的な学習支援を継続します。また、手続きの効率化を図るため、オンライン回答の導入や集計様式の改善を行っていきます。

後期ボランティアの募集

冬のスキーボランティアや、引き続き需要が高い日本語サポートボランティアを中心に募集と調整を行ってまいります。スキーボランティアについては、安全面に配慮が必要なため有資格者の派遣希望が多く、ボランティアの確保は難しいのが実態です。日本語サポートボランティアについては、外国籍の児童・生徒の転入を想定し、学校からの希望にかかわらず、ご協力いただける方を募集していきたいと考えています。

4. 広報・お知らせについて

掲載・配布方法

「地域学校協働本部便り」と今年度から発行しております中央中学校区地学協働通信「With」につきましては、市内小中学校へ配布の他、中央・野幌・大麻の3公民館での配布と江別市のホームページにも掲載しております。個人情報の保護に配慮しながら、活動状況や取組を中心に掲載して参ります。